

2026年3月期第2四半期（中間期）決算サマリー（連結）

（単位：百万円）	24/9期	25/9期	増減額
業務粗利益 ①	34,211	32,833	▲1,378
資金利益	32,378	37,460	5,081
役務取引等利益	7,296	6,468	▲828
その他業務利益	▲5,463	▲11,094	▲5,631
うち国債等債券損益 ②	▲728	▲7,986	▲7,257
一般貸倒引当金繰入額 ③	166	388	222
経費 ④	21,955	22,870	915
業務純益 ①－③－④	12,089	9,574	▲2,515
コア業務純益 ①－②－④	12,984	17,949	4,964
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	12,984	17,734	4,749
臨時損益	735	4,511	3,775
うち不良債権処理額	1,933	1,325	▲607
うち株式等関係損益	1,216	5,260	4,043
経常利益	12,824	14,085	1,260
特別損益	▲68	▲64	4
税金等調整前中間純利益	12,756	14,021	1,264
親会社株主に帰属する中間純利益	9,192	10,175	982
与信関係費用	2,099	1,713	▲385

（単位：億円）	24/9期	25/9期	増減額
有価証券利息配当金	126	158	32
うち投資信託解約損益	－	2	2
国債等債券損益	▲7	▲79	▲72
うち売却益、償還益	1	－	▲1
うち売却損、償還損、償却	8	79	71
株式等関係損益	12	52	40
うち売却益	13	56	42
うち売却損、償却	1	3	2

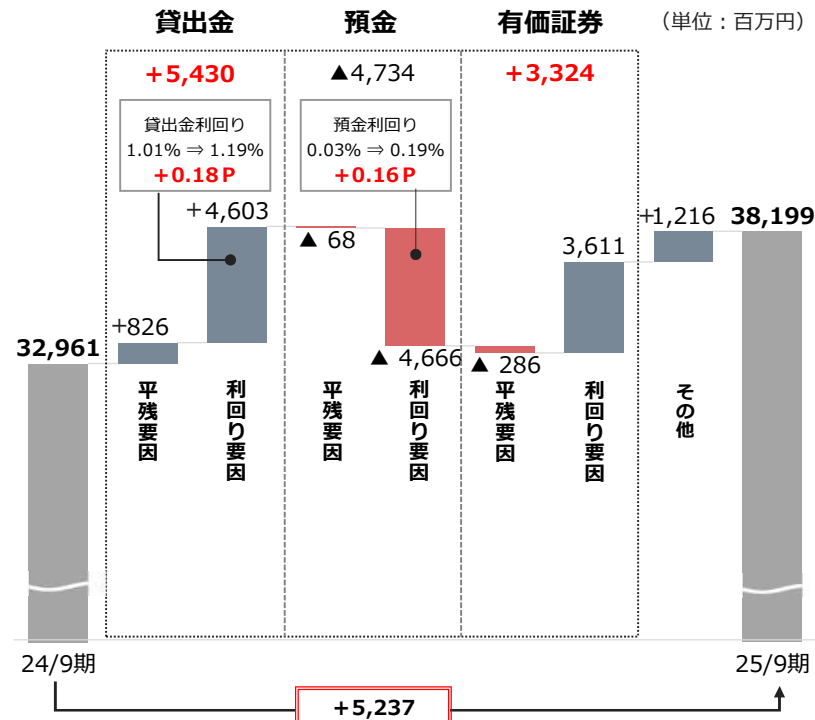
資金利益や株式等関係損益の増加などにより
親会社株主に帰属する中間純利益は**前年同期比10.7%の増益**

【主な増減要因】

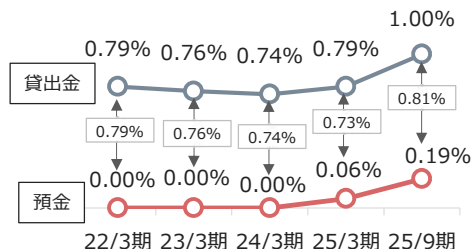
- 貸出金利息や有価証券利息の増加により、資金利益が増加
- 低利回り債券を売却してポートフォリオの改善を図ったことにより、国債等債券損益が減少
- 政策保有株式の売却を進めたことにより、株式等関係損益が増加
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、5期連続の増益

■ 貸出金利息や有価証券利息の増加により、資金利益は前年同期比15.9%増加

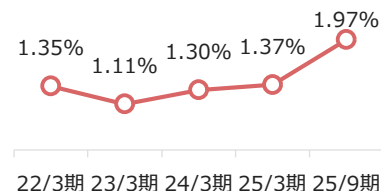
資金利益の増減要因（全店）



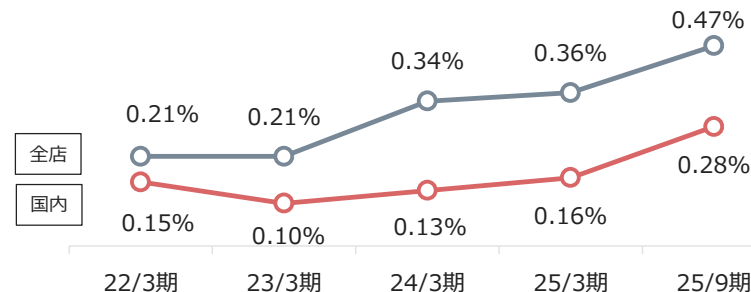
■ 預貸金利回り（国内）



■ 有価証券利回り（国内）



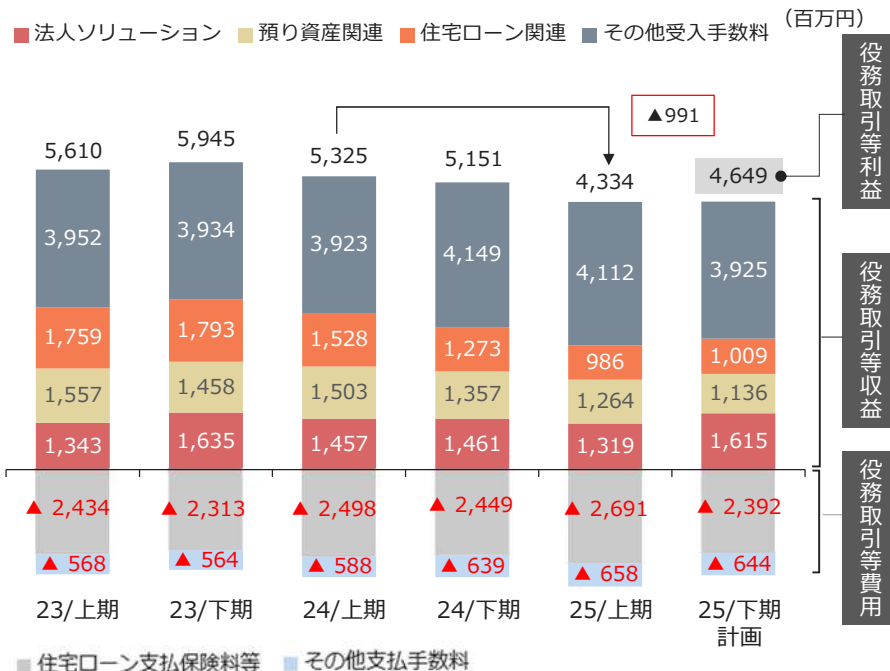
■ 総資金利鞘（全店・国内）



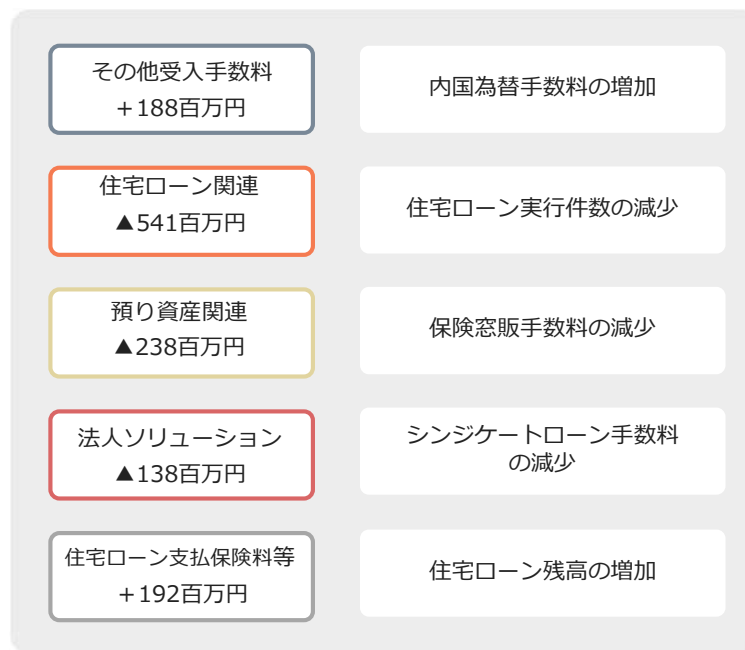
役務取引等利益（単体）

住宅ローン関連手数料の減少などにより、役務取引等利益は前年同期比18.6%減少

役務取引等利益

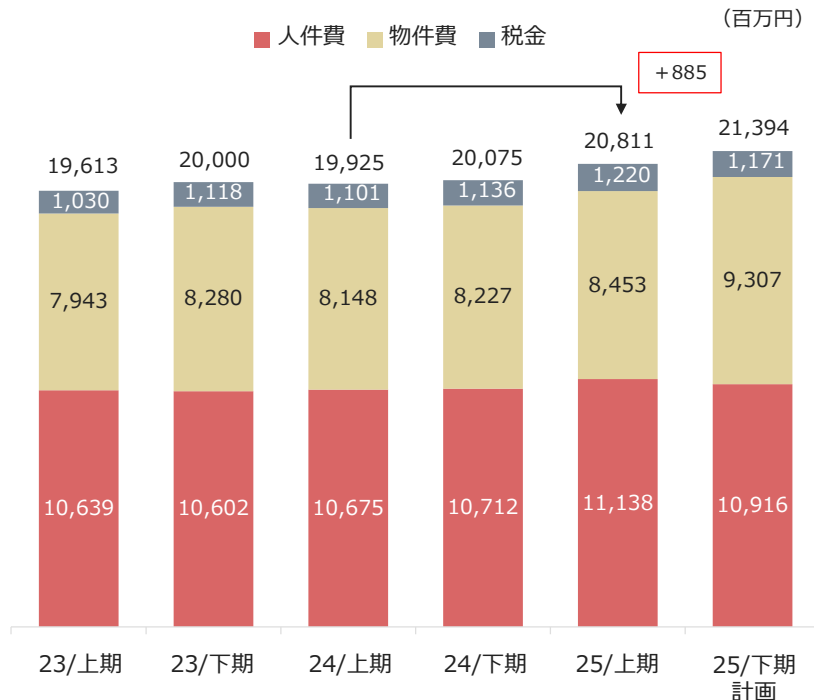


主な増減要因（前年同期比）

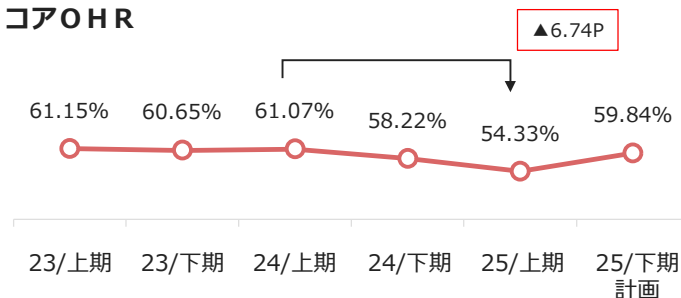


■ ベースアップやIT関連投資などにより、経費は前年同期比4.4%増加

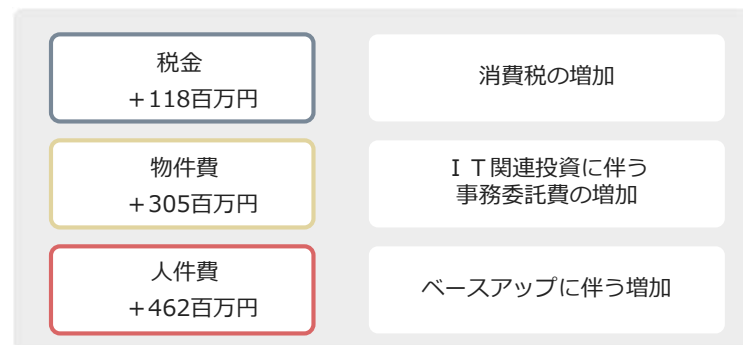
経費



■ コアOHR



■ 主な増減要因

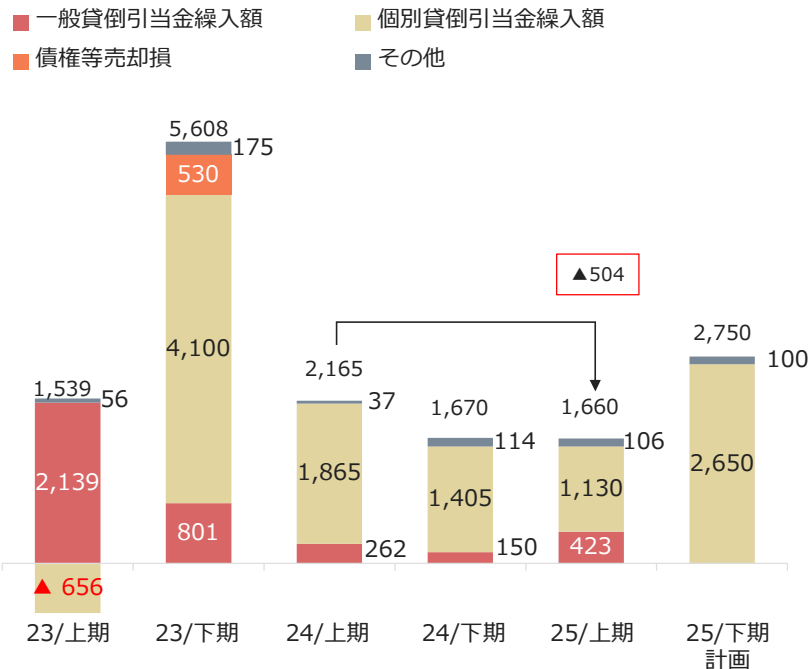


与信関係費用（単体）

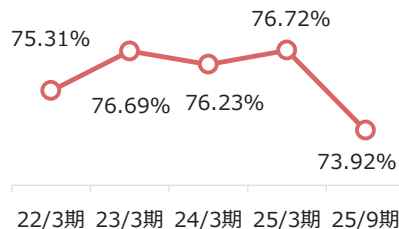
個別貸倒引当金繰入額の減少により、与信関係費用は前年同期比23.3%減少

与信関係費用（単体）

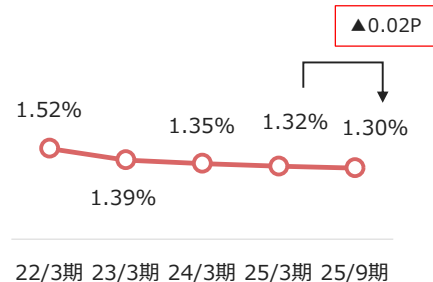
（百万円）



■ 不良債権カバー率



■ 不良債権比率



■ 与信費用比率

